

第10回 BELCA賞ロングライフ部門表彰物件

東日本電信電話株式会社 研修センタ 講堂

所在地：東京都調布市入間町1-44

用途：講堂

竣工：1956年

所有者：東日本電信電話株式会社

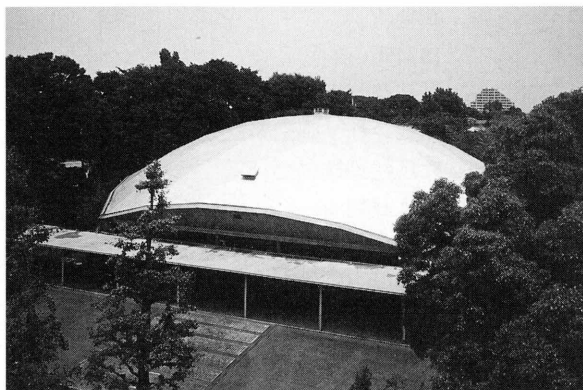
設計者：株式会社エヌ・ティ・ティ ファシリティーズ

施工者：勝村建設株式会社

岸野電気株式会社

維持管理者：株式会社エヌ・ティ・ティ ファシリティーズ

日本メックス株式会社



小田急線成城学園前駅より車で10分とかからない至便な距離で、今もなお武蔵野の面影を残す緑豊かな広大な敷地が選ばれて、昭和24年(1949年)NTT事業の能率とサービスの向上を計るために、社員の訓練を行う場として、校舎・寄宿舎・グランドなどの学園施設が建設された。本建物は校舎群の中で1000名収容できる「講堂」施設として工期1ヶ年で昭和31年(1956年)9月30日に竣工した。

平面形状は聴衆を舞台の中心から左右45°内におさめた単純な5角形にまとめられている。

大屋根は軽量化が考慮され、RCに比べ経済的な鉄骨のシャーレとし、三角形に構成された構造体の鉄骨フレームは意匠的にも心地よい軽快な表現となっている。

音響計画は講義が主であることが考慮され、騒音レベル・音量・音圧分布等が検討され、舞台上部には音響計画上の反射板として鉄骨にフレキシブルシートを張って形づくられている「浮き雲」が取り付けられ、インテリア大空間の意匠的なアクセントとしても効果的であり、今も新鮮さを失っていない。

色彩計画はできるだけ素材の色がそのまま生かされ、講堂としての必要照度を確保し、均等な照度分布と拡散された柔らかい光を客席に与え、天井の鉄骨構造体を軽快に浮き出して視覚的效果が得られる様に、反射光を主に用いる方式がとられている。

講堂内部の床材は新築時のリノリュームやハードナーモルタルが老朽劣化し、騒音防止や吸音等を考慮してカーペット敷とされ、客席の椅子も筆記台付きクロス貼りの1人掛けタイプに改修されている。

空調設備は当初換気設備だけであったが、本館新築時に冷暖房設備も導入され、快適な温湿度制御がおこなわれている。

平成4年(1992年)12月から分社化によりNTTファシリティーズが発足し、総合管理業務が実施され、マニュアルに基づいて日常点検が毎月実施されている。

電々公社時代から実施されていた全施設に対する中長期計画、年度計画の策定、及び日常業務的な防災・保全・清掃などの維持管理業務が着実に実施され、めぐまれた緑の美しい環境の中で、質実剛健な建築として良好な機能は時間と共に維持向上がはかられている。これは正しくBELCA賞の受賞にふさわしいものと言えるであろう。